



9月の平日夜間・休日診療のご案内

●平日夜間診療・休日診療のお問合せは、下記へお尋ねください。

海部南部消防署 ☎52-0119

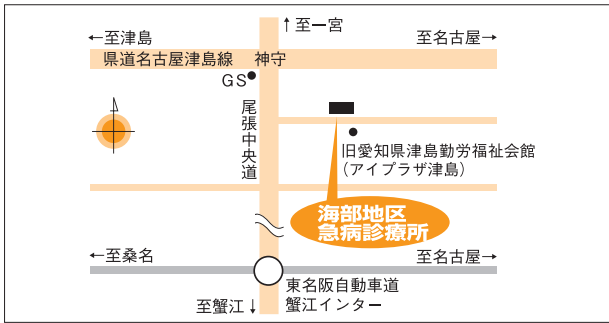
救急医療情報センター ☎26-1133

海部地区急病診療所 ☎25-5210

海部地区急病診療所 津島市義原町字郷西37

診療科目	診療日	受付時間
内科 小児科	土曜	午後6時～8時30分
	日曜 祝日・休日	午前9時～11時30分 午後1時～4時30分 午後6時～8時30分
	上記以外の月曜～金曜	午後8時30分～11時
歯科	日曜 祝日・休日	午前9時～11時30分 午後2時～4時30分

ホームページ <http://amaq.sakura.ne.jp>



病状等のお問合せは、受付時間内に直接お電話してください。

くすり安心電話

- 内容 くすり、医療用品等に関する緊急の相談、質問、問合せ
- 電話番号 090-2136-3858
- 対応時間 午後9時～翌朝9時まで

休日の診療は以下のとおりです。
〈外科〉は、海部郡・津島市・愛西市・弥富市・あま市内の在宅当番医による輪番制で行っています。
〈内科〉は、海部地区急病診療所で行っています。

週末の担当病院です

休日診療〈外科〉 午後5時以降は消防署へお尋ねください。専門外の患者さんは、お断りする場合があります。

◆診療時間 日曜・祝日 午前9時～午後5時

2(日)	奥村クリニック	22-2600	津島市
9(日)	つつみ整形外科クリニック	97-0223	蟹江町
16(日)	わたり整形外科	052-449-6699	あま市
17(月・祝)	こじま整形外科	25-9911	愛西市
23(日)	鈴木整形外科	28-8838	愛西市
24(月・振休)	服部整形外科皮膚科	65-1200	弥富市
30(日)	脳神経外科のぞみクリニック	052-443-5533	あま市
10月			
7(日)	かみ形成外科	22-2077	愛西市
8(月・祝)	森整形外科クリニック	052-445-5050	あま市
14(日)	はせ川外科	24-3370	津島市

無線放送内容を確認できる音声自動応答サービスについて

同報無線で放送した内容は、下記番号へお電話いただくことで確認できます。聞き逃したとき、聞き取りにくかったときなどにご活用ください。

☎52-1451

※通話料金が掛かります。
※混雑時には通話中となることがあります。

災害用伝言ダイヤル171を知っておきましょう

●「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください。

伝言の録音

171

録音の場合は

1

(×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××)

録音

ガイダンスが流れます。

ガイダンスが流れます。

※被災地の方も、被災地以外の方も、被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

ガイダンスが流れます。

(30秒以内)

伝言の再生

171

再生の場合は

2

(×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××) (×××)

再生

すべての市町村に「歯と口腔の健康づくり推進条例」があります。これからの社会の活力を維持していく上で、平均寿命の伸び以上に健康寿命を延伸することが望まれます。8020運動をさらに推進し、個人が歯と口腔を含めた健康寿命を延ばすことが大切であり、歯と口腔の健康に対してセルフケアを進め、定期歯科健診や歯科治療を受けて、歯と口腔のケアを心がけることが必要です。

(海部歯科医師会)

平成28年の歯科疾患実態調査で、80歳で20歯以上の歯を持つ方の割合が50%を超えました。20歯程度歯があれば、豊かな食生活を送るうえで支障が少ないとされ、平成元年に8020運動の推進が提唱されて今年で30年目を迎え、当初の目標を達成したこととなります。20歳以上で過去1年間に歯科健診を受けた人の割合は、この10年で34%から53%に増えています。1日3回以上歯を磨く方が増え続けています。フッ化物応用、デンタルフロス、歯間清掃ブラシなどの普及や歯を残すことへの関心の高まり等、多くの要因が影響していると考えられます。昨年6月の経済財政諮問会議の基本方針で、生涯にわたる歯科健診の充実や要介護者等への口腔機能管理推進等、歯科保健医療サービスを進めることが提言されました。歯と口腔の健康を誰もが保てる社会の実現に向けて、歯と口腔の機能が維持できるように、皆が協力していくことが必要です。海部地域はすべての市町村に「歯と口腔の健康づくり推進条例」があります。これからの社会の活力を維持していく上で、平均寿命の伸び以上に健康寿命を延伸することが望まれます。8020運動をさらに推進し、個人が歯と口腔を含めた健康寿命を延ばすことが大切であり、歯と口腔の健康に対してセルフケアを進め、定期歯科健診や歯科治療を受けて、歯と口腔のケアを心がけることが必要です。

歯の健康講座
その433

二人に一人は8020
はちまるにいまる

平成28年の歯科疾患実態調査で、80歳で20歯以上の歯を持つ方の割合が50%を超えました。20歯程度歯があれば、豊かな食生活を送るうえで支障が少ないとされ、平成元年に8020運動の推進が提唱されて今年で30年目を迎え、当初の目標を達成したこととなります。20歳以上で過去1年間に歯科健診を受けた人の割合は、この10年で34%から53%に増えています。1日3回以上歯を磨く方が増え続けています。フッ化物応用、デンタルフロス、歯間清掃ブラシなどの普及や歯を残すことへの関心の高まり等、多くの要因が影響していると考えられます。昨年6月の経済財政諮問会議の基本方針で、生涯にわたる歯科健診の充実や要介護者等への口腔機能管理推進等、歯科保健医療サービスを進めることが提言されました。歯と口腔の健康を誰もが保てる社会の実現に向けて、歯と口腔の機能が維持できるように、皆が協力していくことが必要です。海部地域はすべての市町村に「歯と口腔の健康づくり推進条例」があります。これからの社会の活力を維持していく上で、平均寿命の伸び以上に健康寿命を延伸することが望まれます。8020運動をさらに推進し、個人が歯と口腔を含めた健康寿命を延ばすことが大切であり、歯と口腔の健康に対してセルフケアを進め、定期歯科健診や歯科治療を受けて、歯と口腔のケアを心がけることが必要です。